

## 高森町教育委員会の取組

### ～不登校の子どもたちへの支援、教育支援センター「ぱれっと」の取組～

高森町教育委員会では、県教育委員会の「学びの改革パイオニア校構築支援事業」(※)を活用し、町教委と、こども家庭総合支援室が連携し、子どもたちが気楽に立ち寄れる居場所として、町の教育支援センター「ぱれっと」の充実を進めています。

「ぱれっと」では、教科学習支援だけでなく、地域の方々と関わりながら、体験活動を通して自分の可能性を広げ、自己肯定感を高めていく居場所というコンセプトのもと、子どもたちがやってみたい活動を「〇〇の会」として、月に1～2回行っています。

例えば、「ケーキづくりの会」では、「ぱれっと」に通う子どもと保護者、ボランティア、町職員が協働して、シフォンケーキづくりを下ごしらえから行いました。また、「ミシンの会」では、製作したおんぶひもやスカートを持参して保育園を訪問しました。訪問をきっかけに、園児とのサツマイモの苗植え、外遊びや散歩、夏祭りのお手伝いへと発展しています。

体験活動のほとんどは、地域に住む方々で構成された子ども支援ボランティアグループの協力を得ながら行われています。地域の方々が支援者となり、「自分らしい学び」を積み重ねることで、登校することに抵抗感をもち、自信を無くしている子どもたちが自己肯定感を高め、自立するためのエネルギーを養う一助となっています。今後もさらに、安心して過ごすことのできる居場所づくりを進めていきます。



【「ケーキづくりの会」の様子】



【中学生が製作したスカートを試着する  
保育園児】

#### ※学びの改革パイオニア校構築支援事業

探究的な学びや不登校等の多様な児童生徒の学びの保障について実践研究を行う学校を県教育委員会が支援し、研究成果を発信する事業